

不許複製

ケーススタディ 応用問題 第1回

■弘前大学医学科 AO II 第2次選考の内容 (2018年度入試受験報告書より)

レポート用紙 B4 36行1枚 (1500字前後) 初めに詳しい説明がある。

■設問

高齢化社会において、介護 高齢者の貧困や犯罪、孤独死といった問題が深刻化する中で、未来を担う若い世代として、 どういう社会をつくり、そのために何をすべきか。

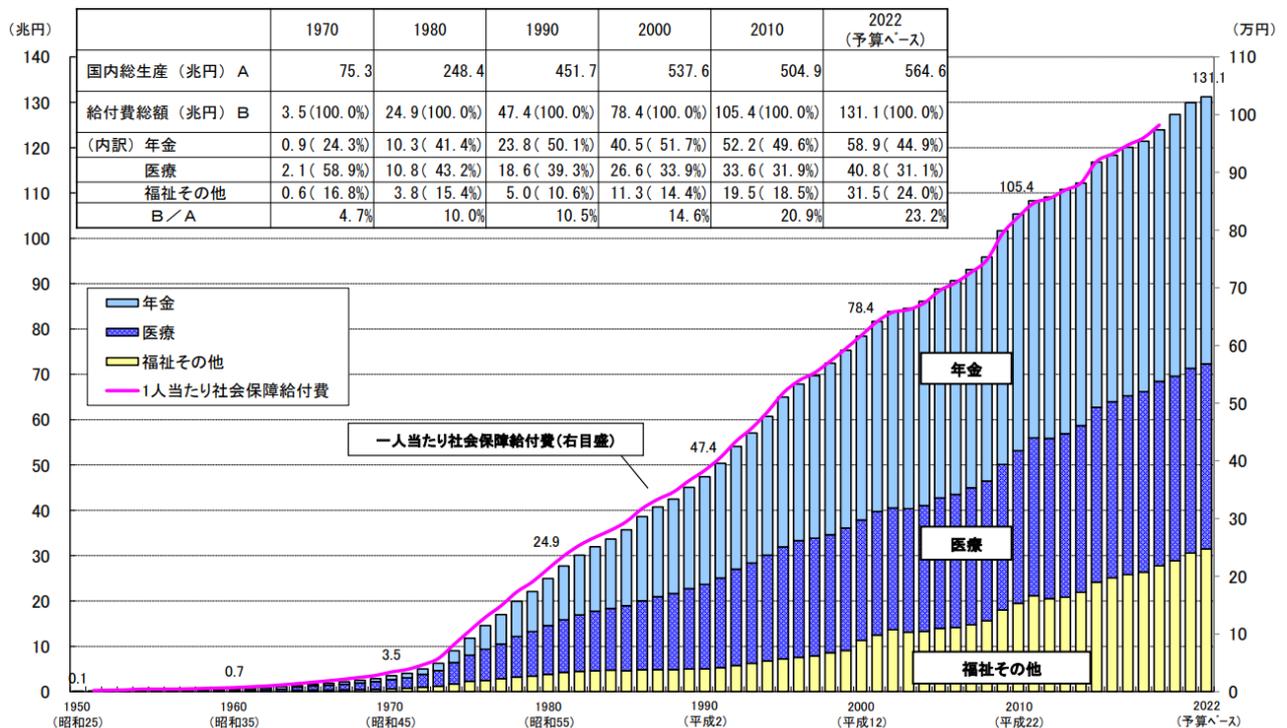
シナリオの要約

60歳のA氏が83歳の母親の介護をするというストーリー。A氏は母の介護のために仕事を辞め、母を介護施設に入居させ介護する。やがて母が亡くなり介護を終えたA氏自身もすでに70歳くらいで、人とのかかわりもない。自分の介護など、これからの生活に不安を覚え悩む。

■資料

1. 社会保障費給付費の推移

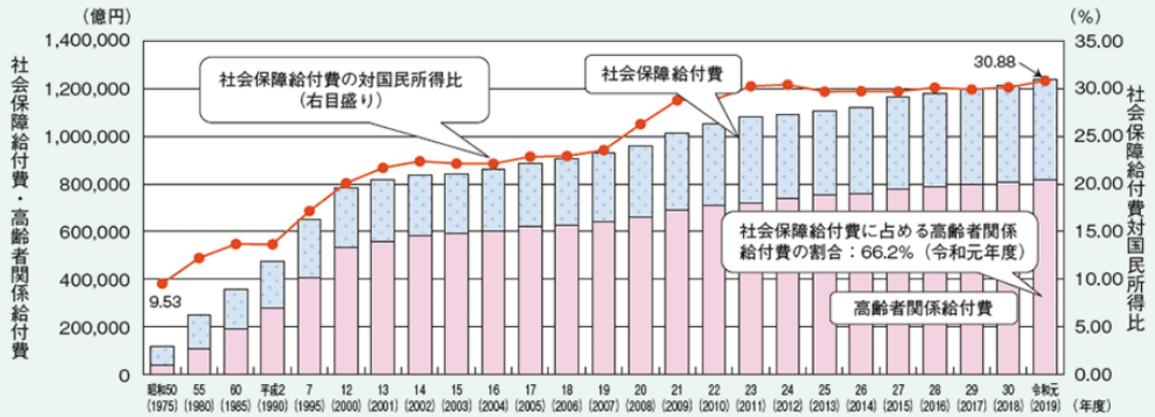
社会保障給付費の推移



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「令和元年度社会保障費用統計」、2020～2022年度(予算ベース)は厚生労働省推計、
2022年度の国内総生産は「令和4年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(令和4年1月17日閣議決定)」
(注) 図中の数値は、1950,1960,1970,1980,1990,2000及び2010並びに2022年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

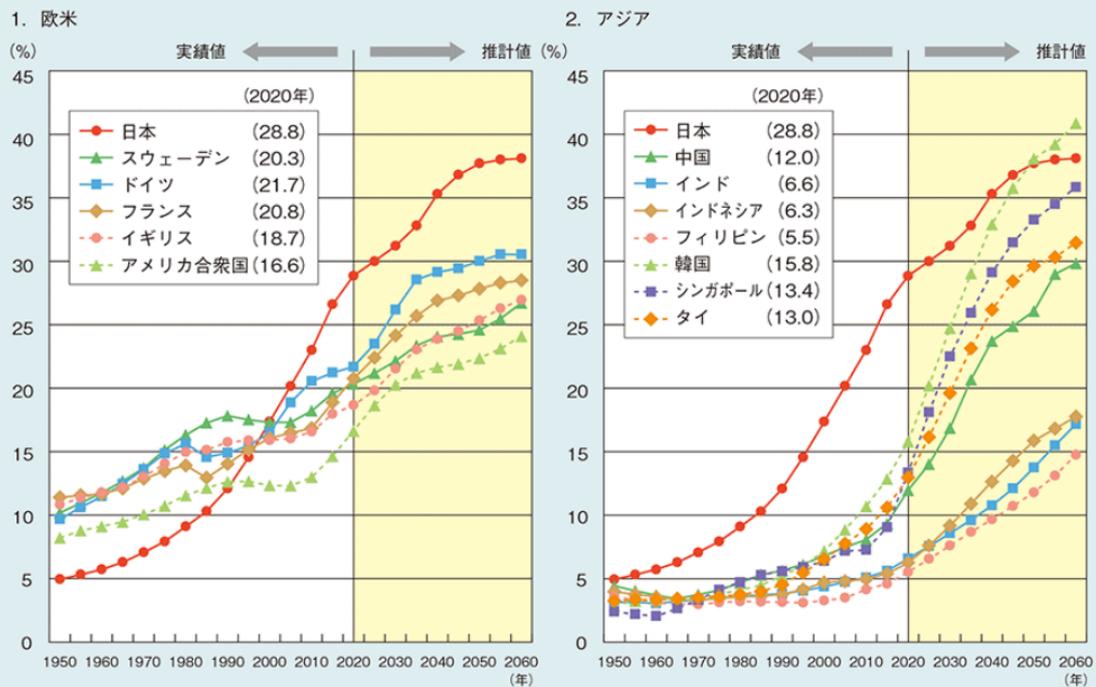
2. 社会保障費に占める高齢者関係費の割合の推移と所得に占める社会保障費の割合

図1-1-13 社会保障給付費の推移



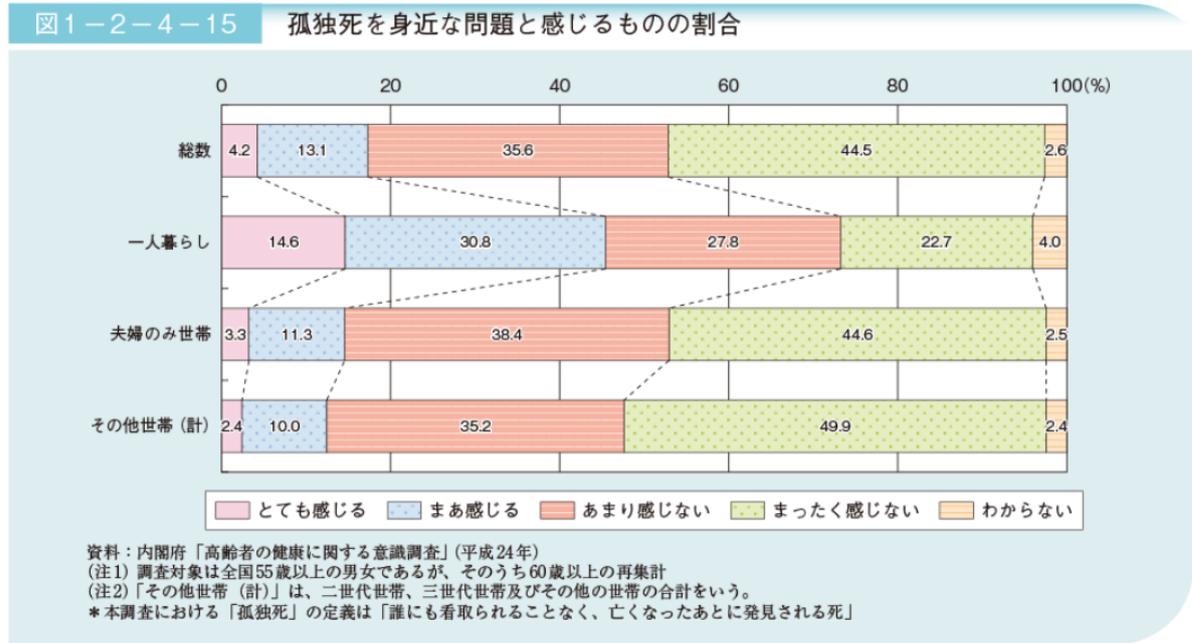
3. 各国の高齢化率の推移（～2060年）

図1-1-6 世界の高齢化率の推移

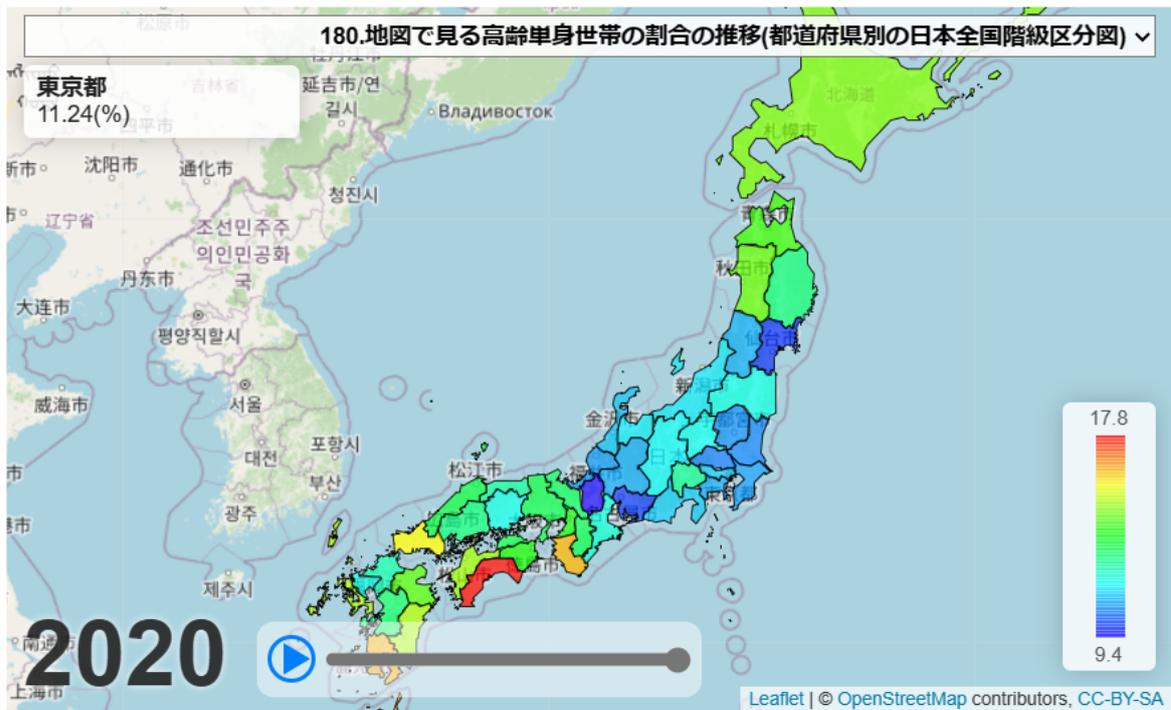


資料：UN、World Population Prospects：The 2019 Revision
 ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」、2020年は総務省「人口推計」（令和2年10月1日現在（平成27年国政調査を基準とする推計））
 2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

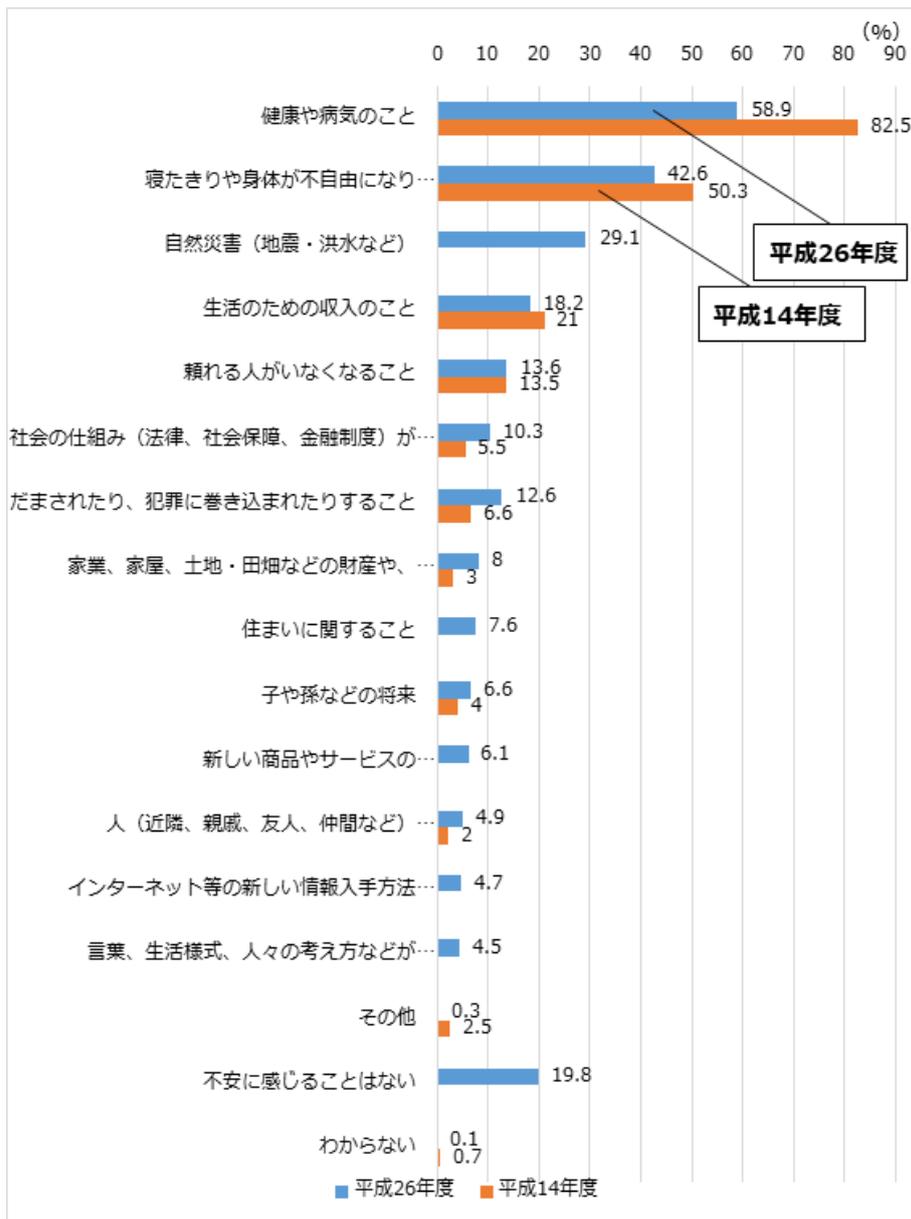
4. 孤独死を身近に感じる人の割合



5. 日本の高齢者世帯に占める単身世帯の割合(都道府県別)



6.高齢者が感じる不安の種類



グラフ 1: 高齢者の日常生活の不安 ²⁾より作成

7.生きがいを感じている高齢者の割合

図表2-1-1-2 生きがいの程度(Q1)(択一回答)

	全体	十分感じている	多少感じている	あまり感じている	まったく感じている	不明・無回答	感じている(計)	感じている(計)
全体	1,755	37.2	42.5	16.2	3.6	0.6	79.6	19.8
<F1. 性>								
男性	854	33.6	43.6	18.4	3.9	0.6	77.2	22.2
女性	901	40.5	41.4	14.1	3.4	0.6	81.9	17.5
<F1. 性×F2. 年齢>								
男女計								
60～64歳	258	38.4	44.2	14.3	2.7	0.4	82.6	17.1
65～69歳	391	40.4	40.7	14.3	4.1	0.5	81.1	18.4
70～74歳	402	39.1	42.3	13.9	4.0	0.7	81.3	17.9
75～79歳	344	34.0	43.9	18.6	3.2	0.3	77.9	21.8
80歳以上	360	33.6	41.9	19.7	3.9	0.8	75.6	23.6
65歳以上(再掲)	1,497	36.9	42.2	16.5	3.8	0.6	79.1	20.3
75歳以上(再掲)	704	33.8	42.9	19.2	3.6	0.6	76.7	22.7
男性								
60～64歳	127	31.5	49.6	15.0	3.1	0.8	81.1	18.1
65～69歳	183	32.8	45.4	15.3	6.0	0.5	78.1	21.3
70～74歳	199	39.2	40.7	16.1	3.5	0.5	79.9	19.6
75～79歳	170	31.2	42.4	22.4	3.5	0.6	73.5	25.9
80歳以上	175	32.0	41.7	22.9	2.9	0.6	73.7	25.7
65歳以上(再掲)	727	34.0	42.5	19.0	4.0	0.6	76.5	23.0
75歳以上(再掲)	345	31.6	42.0	22.6	3.2	0.6	73.6	25.8
女性								
60～64歳	131	45.0	38.9	13.7	2.3	-	84.0	16.0
65～69歳	208	47.1	36.5	13.5	2.4	0.5	83.7	15.9
70～74歳	203	38.9	43.8	11.8	4.4	1.0	82.8	16.3
75～79歳	174	36.8	45.4	14.9	2.9	-	82.2	17.8
80歳以上	185	35.1	42.2	16.8	4.9	1.1	77.3	21.6
65歳以上(再掲)	770	39.7	41.8	14.2	3.6	0.6	81.6	17.8
75歳以上(再掲)	359	35.9	43.7	15.9	3.9	0.6	79.7	19.8
<F1. 性×F3. 未婚婚>								
男女計								
結婚したことがない	65	32.3	30.8	26.2	10.8	-	63.1	36.9
現在、配偶者がいる	1,284	38.6	43.5	14.7	2.6	0.5	82.2	17.3
配偶者と死別	327	33.0	42.5	19.3	4.3	0.9	75.5	23.5
配偶者と離別	78	33.3	34.6	19.2	12.8	-	67.9	32.1
男性								
結婚したことがない	38*	31.6	23.7	34.2	10.5	-	55.3	44.7
現在、配偶者がいる	702	34.6	46.0	16.0	2.8	0.6	80.6	18.8
配偶者と死別	72	26.4	37.5	29.2	5.6	1.4	63.9	34.7
配偶者と離別	42*	31.0	31.0	26.2	11.9	-	61.9	38.1
女性								
結婚したことがない	27*	33.3	40.7	14.8	11.1	-	74.1	25.9
現在、配偶者がいる	582	43.5	40.5	13.2	2.2	0.5	84.0	15.5
配偶者と死別	255	34.9	43.9	16.5	3.9	0.8	78.8	20.4
配偶者と離別	36*	36.1	38.9	11.1	13.9	-	75.0	25.0
<F1. 性×F4. 同居形態>								
男女計								
単身世帯	237	35.0	38.0	20.7	6.3	-	73.0	27.0
夫婦のみの世帯	741	42.0	40.8	14.4	2.0	0.8	82.7	16.5
二世帯世帯(親と同居)	49*	28.6	42.9	22.4	6.1	-	71.4	28.6
二世帯世帯(子と同居)	450	30.9	46.0	17.6	4.9	0.7	76.9	22.4
三世帯世帯(親・子と同居)	46*	34.8	52.2	10.9	2.2	-	87.0	13.0
三世帯世帯(子・孫と同居)	170	41.8	42.9	11.8	2.9	0.6	84.7	14.7
その他の世帯	62	29.0	45.2	21.0	4.8	-	74.2	25.8
男性								
単身世帯	93	28.0	36.6	26.9	8.6	-	64.5	35.5
夫婦のみの世帯	401	37.9	43.9	15.7	1.5	1.0	81.8	17.2
二世帯世帯(親と同居)	20*	35.0	30.0	30.0	5.0	-	65.0	35.0
二世帯世帯(子と同居)	207	27.1	46.9	20.3	5.8	-	73.9	26.1
三世帯世帯(親・子と同居)	28*	32.1	53.6	10.7	3.6	-	85.7	14.3
三世帯世帯(子・孫と同居)	72	38.9	41.7	13.9	4.2	1.4	80.6	18.1
その他の世帯	33*	27.3	42.4	24.2	6.1	-	69.7	30.3
女性								
単身世帯	144	39.6	38.9	16.7	4.9	-	78.5	21.5
夫婦のみの世帯	340	46.8	37.1	12.9	2.6	0.6	83.8	15.6
二世帯世帯(親と同居)	29*	24.1	51.7	17.2	6.9	-	75.9	24.1
二世帯世帯(子と同居)	243	34.2	45.3	15.2	4.1	1.2	79.4	19.3
三世帯世帯(親・子と同居)	18*	38.9	50.0	11.1	-	-	88.9	11.1
三世帯世帯(子・孫と同居)	98	43.9	43.9	10.2	2.0	-	87.8	12.2
その他の世帯	29*	31.0	48.3	17.2	3.4	-	79.3	20.7
<F5. 住居形態>								
持家(住宅ローン返済中)	265	40.0	43.0	14.3	2.6	-	83.0	17.0
持家(住宅ローン返済なし)	1,327	38.4	43.2	14.9	2.9	0.6	81.5	17.9
賃貸住宅	137	21.2	36.5	29.2	11.7	1.5	57.7	40.9
その他	25*	32.0	32.0	28.0	8.0	-	64.0	36.0
持家(計)	1,592	38.6	43.2	14.8	2.9	0.5	81.8	17.7
<都市規模>								
大都市	371	37.7	40.7	17.3	4.0	0.3	78.4	21.3
中都市	711	39.4	42.1	14.8	3.1	0.7	81.4	17.9
小都市	462	36.6	42.6	16.2	4.1	0.4	79.2	20.3
町村	211	29.9	46.4	19.0	3.8	0.9	76.3	22.7
<地域>								
北海道・東北	217	39.2	42.4	13.8	3.7	0.9	81.6	17.5
関東	495	36.8	42.6	16.6	3.2	0.8	79.4	19.8
中部(北陸・東山・東海)	345	35.7	42.0	18.3	3.2	0.9	77.7	21.4
近畿	268	41.4	41.0	12.3	5.2	-	82.5	17.5
中国・四国	195	33.3	44.6	16.9	4.6	0.5	77.9	21.5
九州	235	36.6	42.6	18.3	2.6	-	79.1	20.9

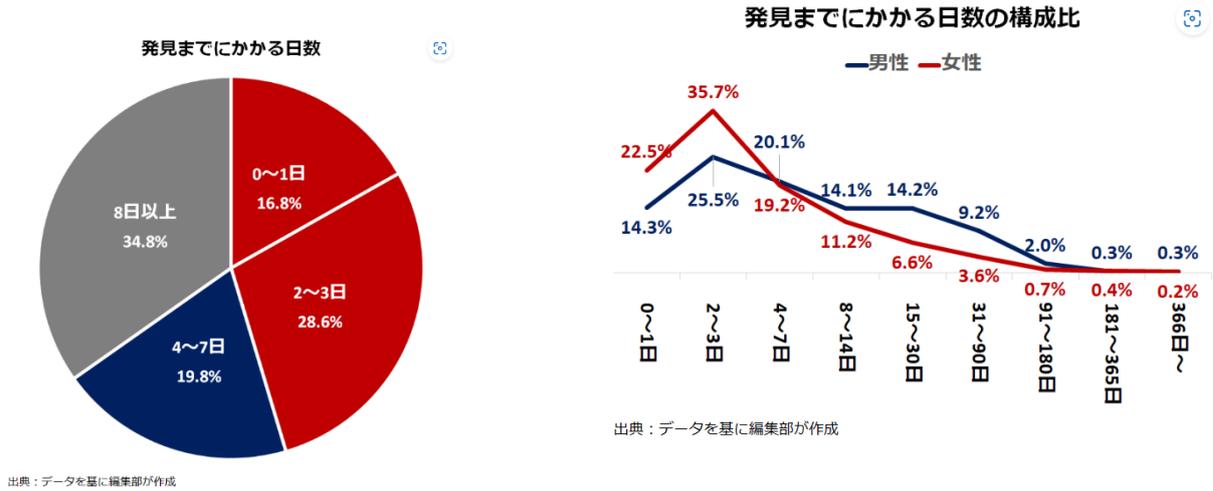
8.都道府県別一人暮らし高齢者率

■一人暮らし高齢者数（都道府県別、10月1日現在）

令和2年国勢調査結果					平成27年国勢調査結果			
都道府県	高齢者人口 (人)	一人暮らし 高齢者数 (人)	対高齢者 人口割合	順位	高齢者人口 (人)	一人暮らし 高齢者数 (人)	対高齢者 人口割合	順位
北海道	1,664,023	361,735	21.7%	5	1,558,387	319,408	20.5%	5
青森県	412,943	71,752	17.4%	21	390,940	61,580	15.8%	25
岩手県	404,359	62,424	15.4%	33	386,573	53,398	13.8%	36
宮城県	638,984	97,239	15.2%	37	588,240	85,398	14.5%	30
秋田県	357,568	55,437	15.5%	32	343,301	47,823	13.9%	35
山形県	359,554	43,451	12.1%	47	344,353	36,953	10.7%	47
福島県	572,825	87,168	15.2%	38	542,384	77,583	14.3%	32
茨城県	839,907	125,596	15.0%	39	771,678	100,117	13.0%	42
栃木県	554,381	85,355	15.4%	34	508,392	69,790	13.7%	37
群馬県	576,729	93,993	16.3%	29	540,026	79,885	14.8%	29
埼玉県	1,934,994	332,963	17.2%	23	1,788,735	275,777	15.4%	27
千葉県	1,699,991	299,889	17.6%	20	1,584,419	258,253	16.3%	21
東京都	3,107,822	811,408	26.1%	1	3,005,516	739,511	24.6%	1
神奈川県	2,308,578	459,724	19.9%	14	2,158,157	398,979	18.5%	15
新潟県	715,935	98,746	13.8%	45	685,085	82,333	12.0%	46
富山県	333,008	46,175	13.9%	44	322,899	39,871	12.3%	44
石川県	333,660	52,169	15.6%	30	317,151	45,787	14.4%	31
福井県	232,684	31,367	13.5%	46	222,408	27,161	12.2%	45
山梨県	245,884	42,105	17.1%	24	234,544	37,359	15.9%	24
長野県	646,942	96,359	14.9%	40	626,085	84,134	13.4%	40
岐阜県	593,751	85,160	14.3%	43	567,571	73,120	12.9%	43
静岡県	1,084,282	166,069	15.3%	36	1,021,283	139,262	13.6%	39
愛知県	1,864,603	323,796	17.4%	22	1,760,763	280,764	15.9%	23
三重県	522,073	88,354	16.9%	27	501,046	77,544	15.5%	26
滋賀県	365,311	53,625	14.7%	42	337,877	44,325	13.1%	41
京都府	734,493	153,688	20.9%	8	703,419	136,531	19.4%	9
大阪府	2,361,723	567,399	24.0%	2	2,278,324	520,292	22.8%	3
兵庫県	1,546,543	313,735	20.3%	13	1,481,646	286,374	19.3%	12
奈良県	414,576	70,741	17.1%	26	388,614	59,231	15.2%	28
和歌山県	305,500	64,404	21.1%	7	296,239	58,706	19.8%	7
鳥取県	177,046	27,170	15.3%	35	169,092	24,056	14.2%	33
島根県	227,881	35,331	15.5%	31	222,648	31,636	14.2%	34
岡山県	557,991	94,208	16.9%	28	540,876	86,275	16.0%	22
広島県	811,931	157,316	19.4%	16	774,440	144,014	18.6%	13
山口県	459,957	94,207	20.5%	11	447,862	86,916	19.4%	10
徳島県	238,346	42,341	17.8%	19	230,914	39,325	17.0%	18
香川県	296,533	53,301	18.0%	18	286,296	48,194	16.8%	19
愛媛県	434,279	89,813	20.7%	9	417,186	81,356	19.5%	8
高知県	241,787	55,958	23.1%	4	237,012	52,459	22.1%	4
福岡県	1,395,142	284,223	20.4%	12	1,304,764	260,056	19.9%	6
佐賀県	246,061	36,646	14.9%	41	229,335	31,338	13.7%	38
長崎県	430,353	83,871	19.5%	15	404,686	73,610	18.2%	16
熊本県	540,538	92,410	17.1%	25	511,484	83,461	16.3%	20
大分県	369,192	69,725	18.9%	17	351,745	62,766	17.8%	17
宮崎県	344,543	70,639	20.5%	10	322,975	62,524	19.4%	11
鹿児島県	505,891	119,020	23.5%	3	479,734	110,741	23.1%	2
沖縄県	324,708	68,601	21.1%	6	278,337	51,710	18.6%	14
全 国	35,335,805	6,716,806	19.0%		33,465,441	5,927,686	17.7%	

※総務省統計局「国勢調査結果」（各年10月1日現在）をもとに作成

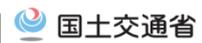
9. 孤独死してから発見されるまでの日数



・東京都区部の孤独死件数

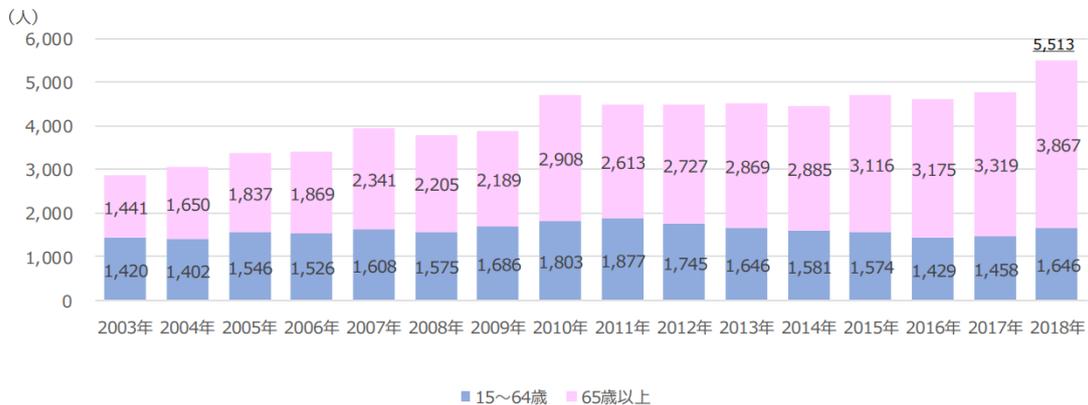
孤独死に関する統計データ①

第1回検討会資料再掲



- 東京都区部で発生した孤独死は増加傾向にあり、2018年は5,513件で、うち65歳以上は約7割（3,867件）となっている。

【東京都区部における年齢階級別の孤独死数の推移】



注1：本データでは、孤独死を「異状死のうち、自宅で亡くなられた一人暮らしの人」と定義している。
 注2：異状死は外因死（災害死）とその後遺症・続発症、自殺、他殺、内因か外因か死因が不明な死亡の事例であり、医師による病死との判断がなされず、事件・事故との関連が疑われ、警察署への届出が義務付けられている。
 注3：なお、「0～14歳」に関しては、0件であったため（2003～2018年）グラフ非掲載としている。
 出典：東京都「東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯の者の統計（平成30年）」より作成

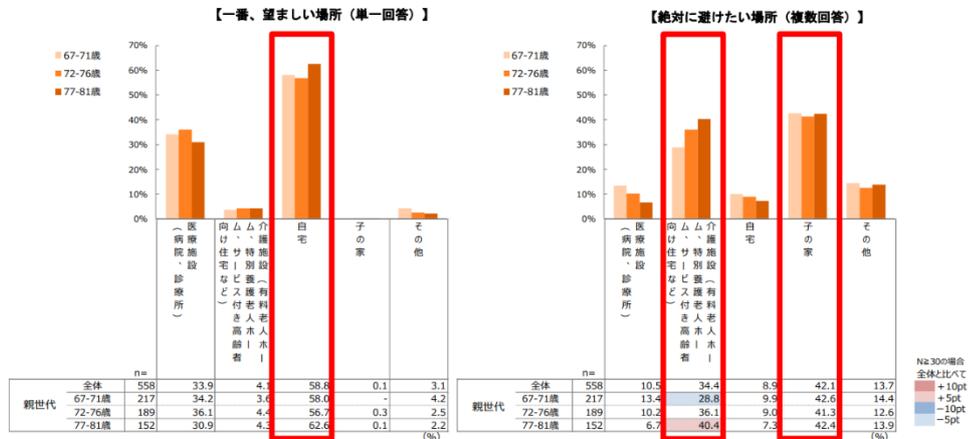
10.介護を受けたい・最後を送りたい場所

日本財団 人生の最期の迎え方に関する全国調査



Q.あなたは、死期が迫っているとわかったときに、人生の最期をどこで迎えたいですか。(単一/複数回答)

- 一番、望ましい場所は、約60%の人が「自宅」を選択。
- 絶対避けたい場所は、「子の家」と「介護施設」。「介護施設」は年齢が上がるほど、避けたい割合が増える。

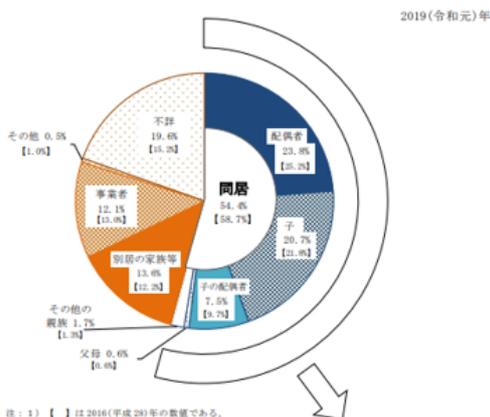


5

Copyright(c) 2021 The Nippon Foundation

・介護者の年齢別割合

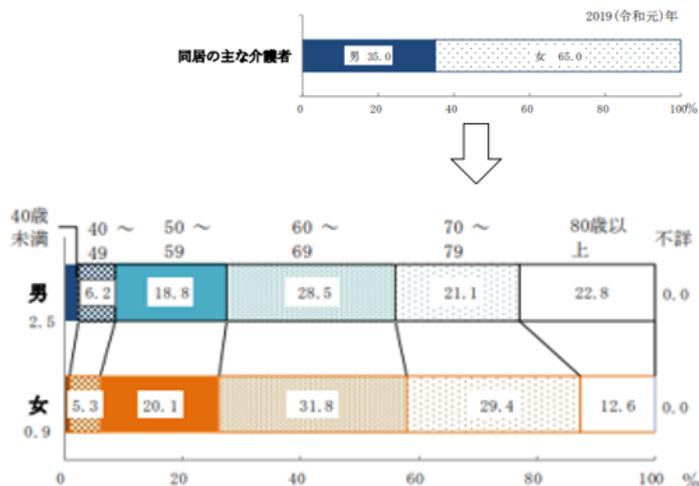
図 27 要介護者等との続柄別主な介護者の構成割合



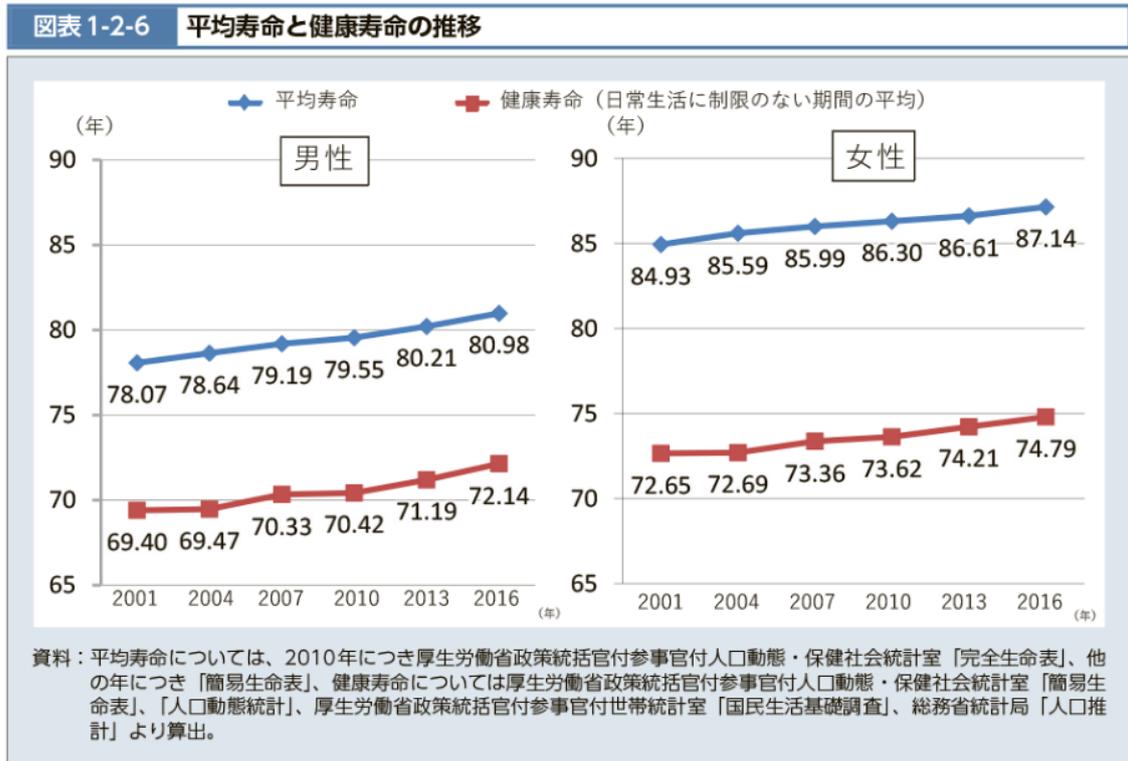
注：1) 【 】は2016(平成28)年の数値である。

2) 2016(平成28)年の数値は、標本数を除いたものである。

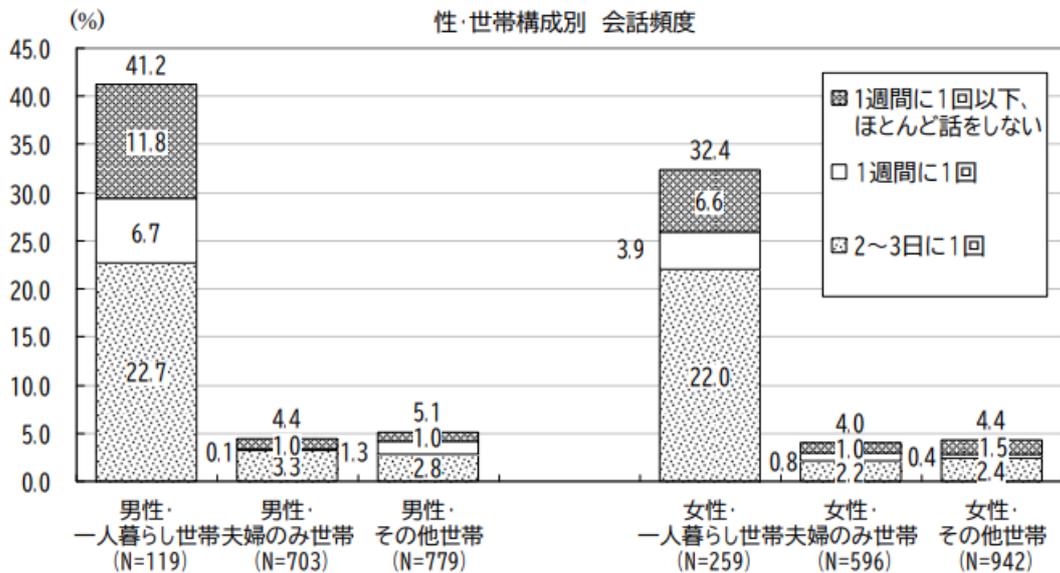
図 28 同居の主な介護者の性・年齢階級別構成割合



11.平均寿命と健康寿命の折れ線グラフ（男女別）



12.単身・夫婦・その他における高齢者の会話の量



○調査対象 : 全国の60歳以上の男女5,000人
 ○有効回答数(率) : 3,398人(68.0%)

13.生活保護受給者の年代別内訳

✓ 年齢別生活保護の割合

生活保護受給者全体の**45.5%**は**65歳以上**で、60代以上に範囲を広げると55.6%になります。

65歳以上：45.5%

60～64歳：10.1%

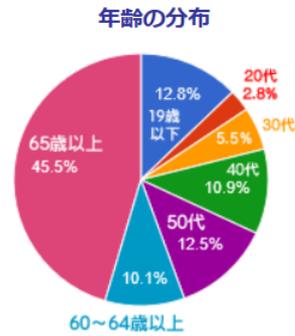
50代：12.5%

40代：10.9%

30代：5.5%

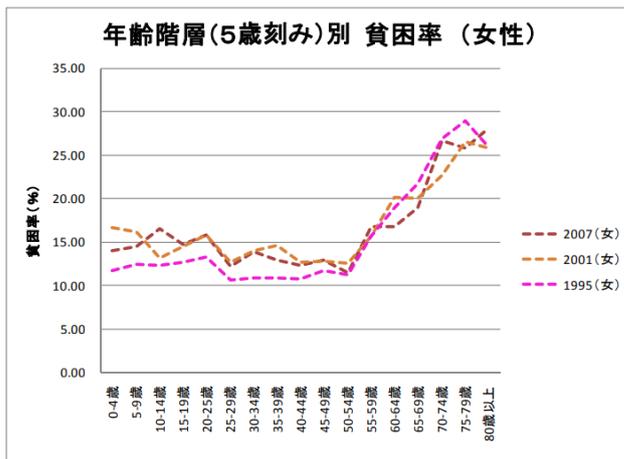
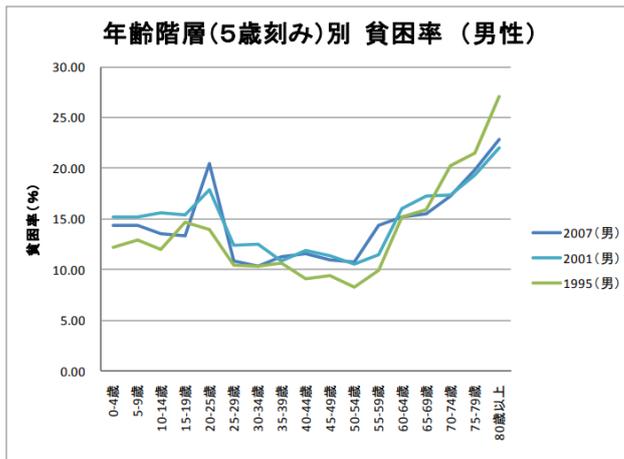
20代：2.8%

19歳以下：12.8%



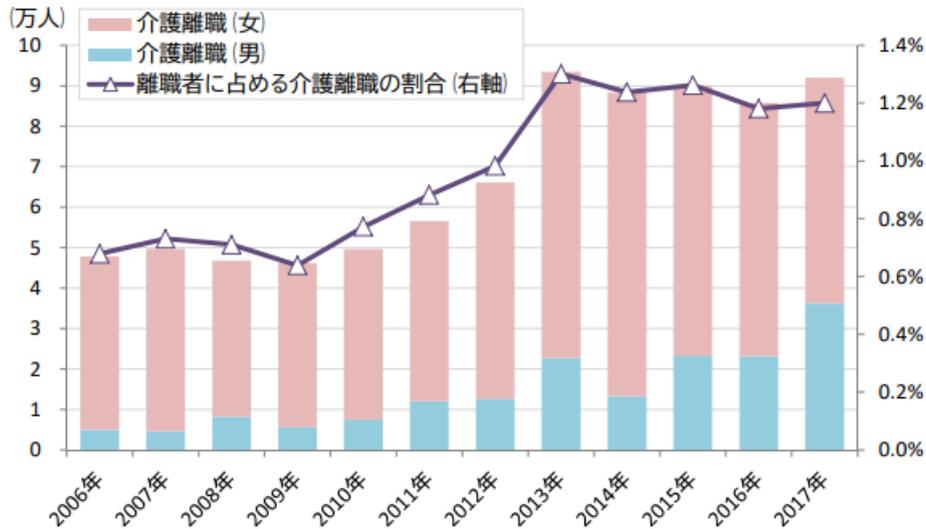
なお、65歳以上3,554万人の中で生活保護受給者は約97万人。
高齢者の2.7%が生活保護を受けていることになります。

・年代別貧困率



14.介護による離職率

介護離職者数の推移



(出所) 厚生労働省「雇用動向調査」より大和総研作成

- ・虐待発生の年齢別割合

虐待を受ける高齢者の傾向

	介護従事者からの虐待	家族や親族からの虐待
男女比	男性30.2% : 女性69.4%	男性24.7% : 女性75.2%
最も多い年代	85～94歳 (45.0%)	75～84歳 (44.5%)
要介護3以上	66.2%	36.1%

出典：『令和2年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果』（厚生労働省）よりWe介護編集部で作成

虐待者の年齢は、「50～59歳」が25.8%と最も多く、次いで70～79歳（「70～74歳」と「75～79歳」の合計）が16.7%、「40～49歳」が16.2%、60～69歳（「60～64歳」と「65～69歳」の合計）が15.5%の順であった。

15.様々な種類の社会参加行事ごとの参加者に占める高齢者の割合

社会活動に参加している人の割合（20歳以上、性・年齢別）

(単位：%)

		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
町内会や地域行事などの活動	男性	17.2	34.1	41.5	42.9	48.5	49.3
	女性	14.8	37.9	48.3	42.9	49.8	45.7
ボランティア活動	男性	7.7	13.1	13.7	14.3	17.6	21.3
	女性	9.0	9.4	11.9	15.1	18.1	17.5
スポーツ関係のグループ活動	男性	27.6	19.8	21.9	17.4	21.6	19.8
	女性	11.2	13.8	17.2	16.3	21.4	22.0
趣味関係のグループ活動	男性	28.5	19.4	19.1	18.9	23.9	24.5
	女性	20.6	15.1	14.7	22.8	25.6	30.0
その他のグループ活動	男性	12.2	13.5	12.5	14.3	17.8	19.0
	女性	11.2	12.1	12.3	14.9	18.6	23.4

<厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」／令和元年>

16.グループ参加を通し、何を感じたかについての高齢者の回答とその割合

図1-3-3-4 生きがいを感じる程度について（社会活動への参加の有無別）

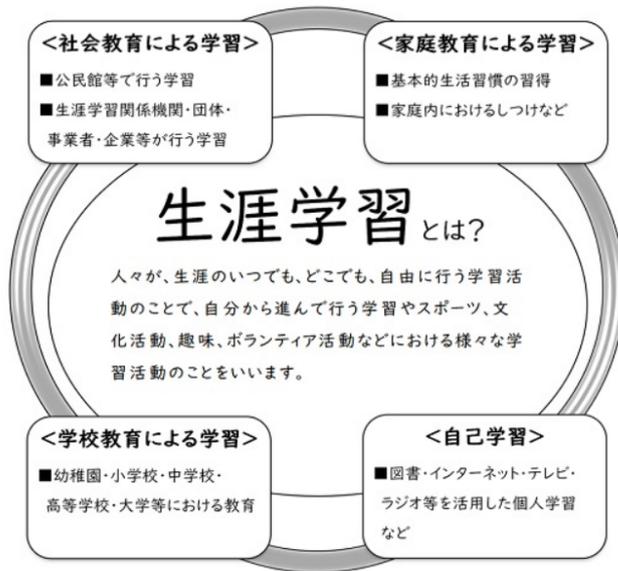


図1-3-3-5 社会活動に参加して良かったと思うこと（複数回答）（年齢・性別）

(%)

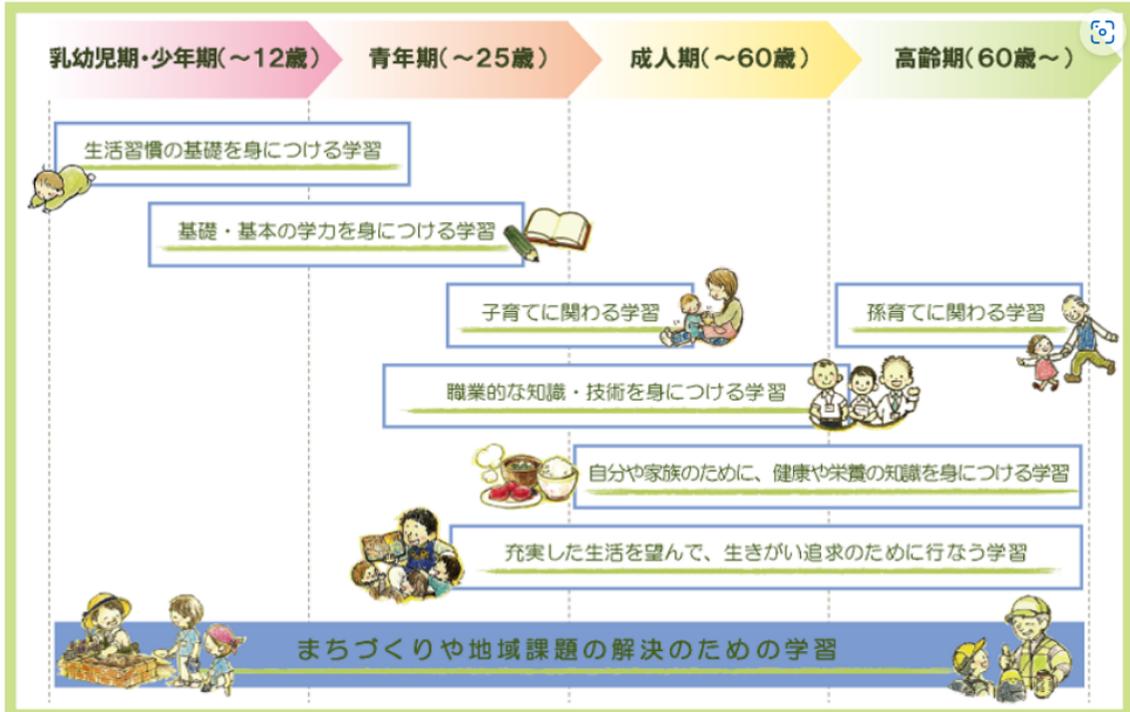
		生活に充実感 ができた	新しい友人 を得ることが できた	健康や体力 に自信が ついた	地域社会に 貢献できた	お互いに助 け合うことが できた	自分の技術、 社会への見 方が広まった	その他	特になし	不明・無回答
65歳以上	全体(n=1,057)	48.8	39.1	34.6	32.4	27.6	22.5	12.7	1.2	4.6
	男性(n=541)	44.4	35.5	29.8	42.0	27.9	24.2	15.5	1.3	5.5
	女性(n=516)	53.5	42.8	39.7	22.3	27.3	20.7	9.7	1.2	3.7
65～74歳	男性(n=306)	43.1	31.4	28.1	45.4	26.1	23.5	17.0	2.0	5.6
	女性(n=276)	54.7	37.7	36.2	24.3	23.6	22.5	8.3	0.7	3.3
75歳以上	男性(n=235)	46.0	40.9	31.9	37.4	30.2	25.1	13.6	0.4	5.5
	女性(n=240)	52.1	48.8	43.8	20.0	31.7	18.8	11.3	1.7	4.2

17.生涯学習の種類



生涯学習とは？

生涯学習とは、生活の向上、職業上の能力の向上や自己の充実を目指し、自分の自発的な意思に基づいて、自分に適した手段や方法を自ら選び、生涯を通じて行うものです。また、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など様々な機会において行うものも生涯学習となります。



18.若者と交流を深めたいと答えた高齢者の割合（帯グラフ）

